



社会福祉法人 恩賜財団

東京都同胞援護会

TOKYOTO ■ DOHO ■ ENGOKAI

同援だより

2010年 新春号

<http://www.doen.jp/>



新年のご挨拶

理事長 牧野 洋一



明けましておめでとうございます。
新年を迎え、皆様のご健勝を心より
お喜び申し上げます。

本年も法人・施設の運営に当たり
格別のご指導、ご支援を賜りますよ

うお願い申し上げます。

わが国経済は、深刻なデフレ不況の中で新年を迎えました。景気回復の歩みは遅く、依然として先の見通しが不透明なままです。

政権が交代し、「事業仕分け」に象徴されるように、従来の政策決定プロセスが大きく変更されたことが話題になりました。しかし、新政権が掲げる高齢者医療介護、障害者福祉、年金制度などの抜本的な見直しについては、まだまだ具体的には見えておりません。大いに議論し、よりよい制度にしたいものです。

さて、昨年は、当法人が運営する施設において格別な事故もなく、新型インフルエンザの影響も最小限にとどめることができました。また、経営面においても適切な収支を確保することができました。これも、役員員二丸となつて取り組んだ結果であり、日ごろの努力に感謝する次第です。

また、児童のグループホーム「高嶋の家」の開設や、東村山生活実習所の全面改築が無事終了しましたが、今年も、むさしの保育園とサンライズ武蔵野の改築が始まります。また、引き続き有為な人材の確保や職員の育成に力を入れ、良質なサービスの提供を図っていかねばなりません。

当法人は、今年も利用者本位の施設運営に努めるとともに、地域の皆様にも喜ばれる施設を目指し一層努力してまいりますので、よろしく申し上げます。



福祉先進国のスウェーデンでは、福祉サービス利用者の一人ひとりの能力を音楽という場を活用して引き出す「ブレンネ法」による取組みが行われています。

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会では、この「ブレンネ法」の発案者であるステンブレンネ氏から直接学ぶ機会を得ることができました。

スウェーデンからの新しい介護手法を活かした新次元の福祉サービスの確立を目指し今日は、「ブレンネ法」を平成二十二年十一月十六日にフジホーム多目的ホールで行われました講演とワークショップから紹介して参ります。

「講演とワークショップ」

ステンブレンネ氏

(Sten Bunne)

「通訳」

ヨアキムカウト氏

(Joakim Kautto) Swedish Quality

Care, Managing director

ステンブレンネ講師プロフィール

スウェーデンの音楽療法分野の第一人者です。ストックホルム王立大学音楽教育学修士号取得(二〇〇六)現在は、フディクスヴァル市文化長であると共に、ヨーテボリ大学ヴェクショー大学・エーレプロ大学・ターラナ大学などで講師を務めています。

ブレンネ氏により開発された「ブレンネ法」は、ブレンネ楽器を使用することで、従来の音楽療法に比べ高齢者・障がい児(者)・児童などに音楽活動の可能性を飛躍的に広げ、専門家ではないケアに携わる職員でも扱える点が特徴です。利用者が主体的に、且つ創造的にかかわる新しい楽器を用いたセラピーです。



イントロダクション

♪ 音楽から ♪

「現代社会では新しい色々なものを取り入れようとしています。はじめに挨拶の歌を歌いたいと思います。」

これは二三年前スウェーデン大使館で私が作った曲です。普段はそちらのギター(フォークギター)を使ったりするのですが、今日はスイングバーギターを使います。(♪歌)

♪「ようこそ 一緒に 歌います」
「ようこそ 楽しく このひと時を」
残念ながら私は日本語を話せませんが、いくつかの日本の歌を用意してきました

います。「ブレンネ法」を簡単に説明しますと、高齢者向けのブレンネ法と児童向けのブレンネ法があります。実は分かれています。」

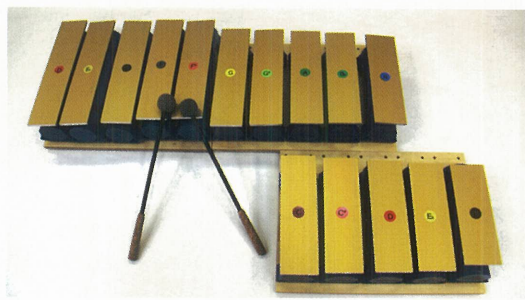


スウィングバー・ギター

普通のギターとは違って、弦が4本です。どこも押さなくても和音が出るように、調弦されています。ネック部分に付いている「バー」を左右に押さえることで、違う和音が出るようになっています。音楽のことがよく分からない方でも直感的に使うことができるよう工夫されています。

認知症の高齢者も楽しめる 楽器の創造

『約三十年前、私は高齢者の前で音楽をはじめたのです。ただし、その時感じたのは音楽というのはインストゥルメントだけではないと感じました。弾きはじめてとき高齢者、とりわけ認知症の方に問題が出てきました。そこで、私はブレンネ楽器を高齢者が使えるように作り、「問題」というよりは「可能性」を追求したわけです。私の知り合いで脳



チャイムバー

鉄琴のように並べて演奏できるだけでなく、1音づつを外して手に持ったりテーブルに置いたりして演奏ができます。チャイムの角度が変えられるようになって、その方に合わせて調整をすることができます。通常の楽器よりも非常に軽くできているので、高齢者の方々のように筋力が低下していても演奏が可能となっています。

神経系の専門家と「脳の活性化」などについて色々話をしましたが、その話の中で「人の活性化については可能性がある」と興味ある話になったのです。

その話によると、人の脳の中には神経細胞があり、ネットワークが広がっています。例えば認知症の人と一緒にいても、刺激や活性化されることによって、ネットワークを広げることができず、実は頭を使うようになる思考能力という部分を支えることができなくなるのです。

私たちは一緒に音楽をやるときにお互いにコミュニケーションをとることで頭の回転がよくなります。これは薬ではできません。同じ効果は出せません。

活性化するためには自分で行動をとることなどで効果が出ます。

このように音楽活動をするれば利用者にも効果が出るだけでなく、スタッフにとつても支援の効果を上げることができます。」

音楽活動をするポイントは五つ

『そこで音楽活動をするポイントを五つ紹介いたします。』

一つ目は「リズムをつくること」です。同じ曲を何回も行なうことで安心します。

二つ目は「身体を使うこと、動くこと」です。みんなの身体を伸ばすこと、肩や手を伸ばすのです。音楽を入れると人は身体を動かしやすいになります。

三つ目は「呼吸をしっかりとすること」です。聞こえるように話すこと、正しい呼吸をすることです。

四つ目は「一緒に音楽をやること」です。例えばこのスイングバーギターを使います。またいくつかの楽器があります。チャイムバー、笛、この楽器はひとつの音しか出せません。そのため一人ひとり一つの楽器を使い曲の中で部分的に使います。そうすることで人と人との関係が大切になります。社会的なつながりとなるのです。

りとなるのです。

五つ目は「記憶の練習をすること」です。そのため私たちはセッションでテーマを持たせます。全ての人間が共通しているテーマにします。思い出すために私たちは刺激を与えます。

例えば「木」についてのテーマであれば木についての歌を探します。それから写真、大きな写真があつていいと思います。葉を持つたりもし果物の木があれば食べたりして感じ、自分との間の歴史を探します。そこで思い出すのは木について何を思い出すのか。思い出したときのアイデンティティーにより自信につながるのです。』

スイングバーギターを使用して
(♪もみじ)を来場者と合唱

保育園の子ども達も参加して

『まもなく、たくさんの子どもが入ってきます。子どもにとって歌ったりすることは普通です。ただ、自分を表現することは難しいです。行動で示すことができなことがあります。思考能力が発達段階にあるので「やりたいこと」と「できること」に差があります。子ども達と一緒に演奏する場合には教育の部分を入れます。これから成長していく子ども達に色々な教育を行ないます。どんな曲を使うかですが、一番大事なのは簡単にできることです。そのとき色々なものを使います。絵もあれば音もありません。色々な音があります。』

ブンネ氏自ら、ベルや珍しい音のする道具や楽器を使用して様々な音を出す試みを行つてみる。

『音楽の役割が様々な音を出すものにあります。また、ギターを使つたりチャイムバー、笛を使つたりもします。これから子どもたちが中に入ってきます。何が起こるかとても楽しみです。』

昭和郷保育園園児たちが入場して参加

『私は遠い国から来ました。スウェーデンという国です。』

子どもたちとブンネ氏がギターを使い歌う

『私たちは電車で来ました。その時つくった曲が今皆さんと演奏したものです。』

楽器 チヤイムバー・珍しい音のする楽器(ブーメランの音やチヤイム・笛・カズーなどを児童が体験する。)その後ブネ氏は、保育園児とともにある物語に楽器音を入れて行きます。

(物語のストーリーは、保育園児がその場で自由に発想して創作したものです。)

『昔こんなところに小さな電車がありました。』

小さな電車は大きくなりたい。誰かに会った。

お坊さんに会った。
「そうか、大きくなりたいか」
その時風が吹いた



(トブーメランで風の音)

最初は小さな電車が

(笛で警笛の音)お坊さんに会った。

大きくなりたいと思う電車のために

風が大きくなる方法を探ねた。風は誰

が大きくしてくれるのか。神様ができ

るのか? 神様以外には魔法を使えば

できるのか?

実は突然三人のおばあさん(魔女)が

自転車 came。

(ト自転車ベル音)

魔女は電車のところに行きました。

大きくしてほしいのかと聞いた。

魔女は大きな声を出した。三回声を出す

(トカズーによる効果音)

何が起ったのだろう。電車は大きくなり

まりました。』



(ブネ氏は、繰り返し、物語に楽器による効果音を取り入れて表現してみせました。)

スイングバーギターとチヤイムバーで子ども達も演奏

『今皆さんに理解していただきたいことは、今の物語の流れは音楽やコンサートなどと同じ構成だということです。子どもが音楽に参加する場合、楽器などを使います。』

ここで、楽器(スイングバーギターとチヤイムバー)に児童が触れるようにし、

スイングバーギターを弾いてみました。ブネ氏は、『皆さんも一緒にひきましょ

う』と言いい、一緒に歌いだします。
(トかえるの歌)

『スイングバーギターは二人で組んでやってみてください。スイングバーを持っている人は私(ブネ氏)を見てくださ

い。私の手がまっすぐな時はギターのレバーをまっすぐに、右にした時には右に倒し、左は左に倒してください。』

子どもたちにとって初めて経験するスイングバーギターとチヤイムバーですが、すぐに演奏できるようになりました。ブネ楽器は、使っていると自然に手が動き、子どもたちの笑顔がこぼれます。

(ト幸せなら手をたたこう)

(トハッピーバースデー)

『子どもたちにとって、普通のギターは大きくならないとできないのですが、スイングバーギターであればできます。』

今日はずっと上手くできました。そろそろ時間がなくなってきました。今日はブネ法の楽器を通して、お年寄りと子供たちの楽しい集いとすることができました。これからも音楽を通じて、高齢者・障がい者・子どもたちが

参加できる様々な交流を進めていきたいと思ひます。ここには、音楽のできるスタッフもいるから大丈夫です。

このような機会があればまた日本にきて行ないたいと思ひます。今日はありがとうございました。』

この後、参加者からは、「本当に楽しい一日を過ごさせていただき、ありがとうございます。」との声があり、ブネ氏から「私も楽しかったです。ハートが熱くなりました。皆さんに出会うことができたので元気をいただきました。」とブネ法による音楽を通じた心の交流が進みました。

(文責 高齢者支援系 研修担当)

新型インフルエンザに気をつけて

■業務マニュアル委員会

東京都同胞援護会をご利用される方々の多くは、抵抗力の弱い高齢者や子供たちです。そして、生活援助などの集団でのサービス利用をされています。ひとたび施設で新型インフルエンザが発生すると同時に感染が拡大してしまいます。さらに重症化することも予想されます。わたしたちは、新型インフルエンザの特性を踏まえた対策を事前に講じる必要があると考えています。そこで本会では、二〇〇八年度版に引き続いて二〇〇九年度版新型インフルエンザマニュアルを作成しました。

・感染しないためにはどうしたらいいの？
 ・感染してしまつたら？ 施設内での拡大を防ぐためには？

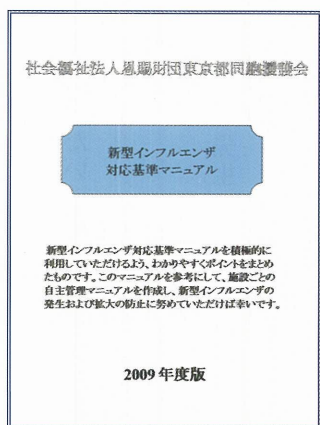
・事前に準備できるものは？

本マニュアルは新型インフルエンザの発生および拡大防止策を講じるためのものです。事業継続計画としてわかりやすくポイントをまとめたものです。

そして、このマニュアルを参考にして、施設ごとの自主マニュアルの作成もこのころなわれました。厚生労働省もこの

ほど、適切な感染拡大防止策を講じること、その効果は高く評価できるとし、社会福祉施設での集団発生(八月)事例を紹介しています。

マニュアルは活用してこそ役立つものです。本格的なインフルエンザシーズンが到来します。咳エチケットの徹底はもちろん、日々の心がけを大切に、皆で一丸となつて乗り切りましょう。



昭島病院

吉田 章

新型インフルエンザとは、季節性インフルエンザと抗原性が大きく異なるインフルエンザ(H1N1)であつて、一般に国民が免疫を獲得していないことから、全国のかつ急速なまん延により

生命および健康に重大な影響を与え、おそれがあると認められるものをいいます。また、ほとんどの方が免疫を持つていないため、通常のインフルエンザに比べると、感染が拡大しやすく、多くの人が感染することが考えられます。感染経路は通常のインフルエンザと同様で、咳やくしゃみとともに放出されたウイルスを吸い込むことによつておこる飛沫感染と、ウイルスが付着したものをふれた後に目、鼻、口などに触れることで、粘膜・結膜などを通じて感染する接触感染が考えられています。

症状は、突然の高熱、咳、咽頭痛、倦怠感に加えて、鼻汁・鼻閉、頭痛等であり季節性インフルエンザと類似しています。ただし、季節性インフルエンザに比べて、下痢などの消化器症状が多し可能性が指摘されています。ほとん



どの方が軽症で回復していますが、持病がある方々のなかには、治療の経過や管理の状況によりインフルエンザに感染すると重症化するリスクが高い方がいます。特に慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、糖尿病などの代謝性疾患、腎機能障害、ステロイド内服などによる免疫機能不全等の持病がある方々は、手洗いの励行、うがい、人混みを避けるなどして感染しないように注意してください。また、周囲の方々も、感染させないように配慮するようにしましょう。さらに、妊婦、乳幼児、高齢者の方々についても、インフルエンザが重症化することがあると報告されています。感染予防を心がけ、かかりつけの医師がいる方は、発症時の対応についても相談しておきましょう。

ウイルス感染を予防するためには、手洗い・うがいをしっかりとすることが大切です。手洗いは、外出後だけではなく、可能な限り、頻回に行いましょう。石けんを使って最低十五秒以上行い、洗った後は清潔なタオル等で水を十分に拭き取りましょう。また、ウイルスが粘膜を通して感染するため、極力鼻や口などを触らないようにしましょう。咳、くしゃみの際の「咳エチケット」も感染防止の上では大切です。咳やくしゃみ等の症状のある人には必ずマスクをつけてもらいましょう。

将 来 の 夢

みどり保育園

土日はサッカーの人になり、あとの全部の日はお店の人になりたい。

(心 輝)

お父さんみたいなスーツ着た人になり、普通の会社で働きたい。

(将 人)

サッカー選手になり、ボールを蹴りたい。

(堯 仁)



上野動物園の飼育員をしたい。

(綾 乃)

サッカー選手の蹴る人になって有名になりたい。

(幸 生)

保育園の先生になってみんなと遊びたい。

(脩 三)

パトカーが好きだから、警察官になりたい。

(巧 弥)

仮面ライダーになって悪い人やっつけ、敵に襲われている人を助けたい。

(太 祐)

ずーっと保育園に居たいから、保育の先生になってみどり保育園で働きたい。

(翔 哉)

ウルトラマンになり、バルタン星人をやっつけたい。

(虎 弥)

飛行機の運転手になって、空を飛びたい。

(朱 馬)

走るのが速いし好きだから、マラソン選手になりたい。

(秀 喜)



ハムスターが可愛くて好きだからペット屋さんになりたい。

(実 古 都)

可愛いから、日本のお姫様になりたい。

(早 紀)

洋服と帽子がカッコイイから警察官になりたい。

(康 太 郎)

きれいな洋服を着るモデルさんになりたい。

(涼 子)

大きな火事でも火を消してくれる消防士さんになりたい。

(神 那)



本が大好きだから、本屋さんになりたい。

(愛流)

ペット屋さんになって猫と遊びたい。

(慧)

消防士になって火を消すひになりたい。

(塑)

電車を見るのが好きだから電車の運転手になりたい。

(匠)



ダンスを習っていてダンスの先生がかっこいいからダンスの先生になりたい。

(華)

帽子と服がかっこいいから、悪い人を捕まえる警察官になりたい。

(孝悟)

悪いことをする人がいないか見守ってくれる白バイ隊になりたい。

(零温)

身体を動かすことが好きだから、体操の選手になりたい。

(岳登)



私の夢

ひかり苑(特養)

● 伊藤昌子

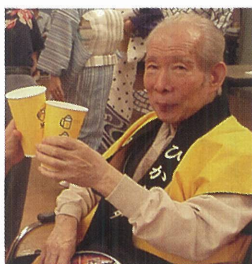


私の生きがいは、掃除をしたり、たみ物を手伝ったり、身体を動かすことです。また最近では、ボランティアで公園の掃除に参加することも楽しみになっています。

これから先も、身体が動かせる限り、いろいろとお手伝いをしたいと思っています。

また、忙しい中、娘が会いに来てくれるのが嬉しく、いつも心待ちにしています。

● 大嶋芳夫



私が好きなことは、将棋をすることと、テレビを観ることです。

最近、リハビリを頑張っているので、出来ればもう少し歩けるようになりたいと思っています。

います。これからも、のんびりとここでの生活を、楽しんで行きたいです。

● 和久京子



私がいっても楽しみにしていることは、駒込に住んでいる娘が面会に来てくれることです。

いつも面会に来てくれる時は、お菓子を持ってきてくれるので、娘と一緒に楽しい時間を過ごしています。

時々、弟や甥や姪も、私に会いに来てくれるので、私は幸せだと思います。

リハビリを頑張って、みんなとお出かけしたり、いろいろな料理作りが出来たらなあと思います。



私 の 夢

サンライズ武蔵野

● S・K(高校二年生)

【将来なりたい職業】

僕の将来なりたい職業は、まだ具体的には決まっていますませんが、人を助ける仕事がしたいと考えています。

なぜそう考えているかということ、僕が小学生のころ母の実家のある岩手県で、熱を出した子どもが救急車で病院をたらいまわしにあって亡くなるという事件が発生しました。小児科医が少ないということで診てもらえない医者がいなかったことが原因だそうです。医者が少ないなんて初めて知りました。特に小児科医です。僕は、東京に住んでいるからいつでも夜間でも診てもらえる環境にあつて、医者が少ないなんて考えもしていませんでした。同じ子どもでも環境によつて治る病気の人でも医者が少なく治療さえ受けられない人がいるんだ、と知ったとき

「僕は医者になるんだ」そう思いました。

医者になるにはどうするのか考えました。ただひたすら勉強をしましたが、医者になるには勉強だけではなく、お金もかなりかかることもわかりました。医者になるには相当難しいんだなって知り、他にはどんな仕事があるんだろううって考えています。

最近岩手に限らず東京でも救急車がたらいまわしになっているニュースをみます。東京でも医者が少ないということなのでしょう。役人になって医師不足の解消をなくすための仕事に就くのもいいのかな？と考へたり、新型インフルエンザが発生し、パンデミックとなり全世界でその発生を食い止めるべく、薬の開発に取り組んだり、医者だけではなく、人の命を救う仕事がたくさんあることを知りました。世界相手の仕事をとると、英語が苦手な僕は拒否反応をしていますが、薬を開発したり、免疫の検査をしたり、化け学が得意な僕にはひょっとしたら何とかなるかな？と考えたりしています。大学は医学部同様かなり難しくなるだろうとは思いますが、僕自

身が思う人を助ける仕事には、今現在の僕が思う職業では一番かな？と考えています。

【人を助ける仕事】

人を助ける仕事として学校の先生や、文部科学省、報道する人、いろいろ仕事があります。今僕が住んでいる母子生活支援施設の職員の方の仕事もその一つです。いろいろ沢山仕事があつて、どの職業が自分にあつていかなんて、今はわかりません。今言えることは、前向きに考えて学校の先輩方の話を聞いたり、視野を広げないといけないと考えています。そのためにいま目のこととして、まずは、苦手な英語の克服。塾に通ったり、学校の先生の手を借りてなんとかしたいと考えています。今までは苦手なものから逃げればかりいたように思います。僕も高校一年生です。そろそろ本気を出して逃げずに頑張れるよう努力しなくてはと思っています。

母はいろいろ考えてアドバイスをくれます。一般の企業でもテレビを作ったり、消火器を作ったり、そんなメーカーでも人を助けることになるって言われました。それもそうだなって思いました。

僕の学校の先輩でサントリーフォールディングスという会社で働いている人がいます。話を聞く機会があり、サントリーと言えばお酒というイメージがありますが、お菓子の会社と合併し、これからお菓子作りやジュースなど新製品の開発もするのだそうです。それも人を助けることにつながるのだからうって思いました。実際そのとき説明した新製品ジュースはすぐに探して購入し飲んでみました。とっても美味しく幸せを感じる事ができます。それが人のためになるんだろうなと思っていました。お酒はよくわかりませんが、母も時々飲んでいてストレスを発散したり、大人の人を助ける役目をはたしている部分も多少はあるんだろうなと思います。

人を助ける仕事に就くには相当自分に厳しくないとできないだろうって思います。少しづつ自分を変える努力をしていきたくて考えています。大人の方の沢山のアドバイスや先輩方の話を聞いて、素直に自分を磨いていけたらと思います。本は大好きで沢山読んでいますが、世の中の事を知るために、新聞もこれからは読むようにして、自分探しをしたいと思っています。

平成二十二年 度

全国老人福祉施設研究会 会議に参加して

ニューフジホーム

園長 相原 幸仁

平成二十二年十二月二日から三日にかけて鹿児島県鹿児島アリーナを会場に、基調報告では「福祉・介護制度をめぐる課題と展望」をテーマに全国の高齢者支援施設関係者二五五名が参加し、活発な協議が行われました。

一日目の基調報告では、福祉介護制度をめぐる今後の展望や全国老人福祉協議会のあり方を報告。結論として、政権交代による福祉サービスのあり方に話が及びまた、参議院議員中村博彦氏からは「人づくりと高品質サービス」をテーマに全国老人福祉協議会として取り組んできた過程を説明。今後の老人福祉施設協議会の方向性を私案として「人材の育成」と「人材確保」について講演したところです。

また、「講演く介護保険制度の問題ー利用者ニーズとのミスマッチ」では立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 教授 服部万里子氏より、平成十八年度介護保険法改正以降、ケアプ

ラン請求数は二十三%減少し訪問系サービス、特に、居宅介護支援事業所の収入減は著しいことの報告がありました。その要因として、予防サービスの報酬改正によるところが大きく影響している。居宅介護の経営は十八年度改正によりさらに悪化傾向にあることが報告されました。

また、有料老人ホームなど特定施設の増が著しく、特定施設は、介護保険の外部サービスの利用により数を増加させてきました。平成二十二年と比較して約十倍以上に増加しています。

二日目は、分科会への参加でありますが、同援からは特別養護老人ホーム四施設が発表を行いました。

各施設名とテーマは以下の通りです。

①ニューフジホームく介護人材確保と育成ー夢と誇りのもてる職場創り

「テーマ」誰もが笑顔で過ごせる居心地の良い施設づくりを目指して
「介護保険の中の忘れ物……」

②ゆたか苑く第三分科会

高品質ケアの達成ー安心と信頼の介護
「テーマ」寄り添う介護「たった二度の人生」

最期、誰に手をつないでほしいですか。

③原町ホームく第三分科会

高品質ケアの達成ー安心と信頼の介護

「テーマ」利用者のQOL向上に向けた取り組み
大切な一人のために皆が出来ること

④ひかり苑く第三分科会

高品質ケアの達成ー安心と信頼の介護

「テーマ」特養入所者の社会参加への取り組み
入所利用者の地域ボランティア活動への参加

各施設、チームワークをもって意欲的にこの研究会に参加いたしました。その結果、みごとに「ゆたか苑」が最優秀賞を受賞いたしましたことをここに報告いたします。

（研修に参加して）

今回は、自施設だけでなく同僚介護会全特別養護老人ホーム施設の研究発表を目的に参加いたしました。

この仕事に期待と希望と輝き。まさに、新しい3K(期待、希望、煌き)職場をめざす研究会であると思えました。高齢者支援系グループ長として、今後この「きらめき」を高齢者支援系職員に伝えていくシステムや研修を構築して参りたいと思います。

全国老人福祉施設研究会 最優秀賞受賞

ゆたか苑 介護員

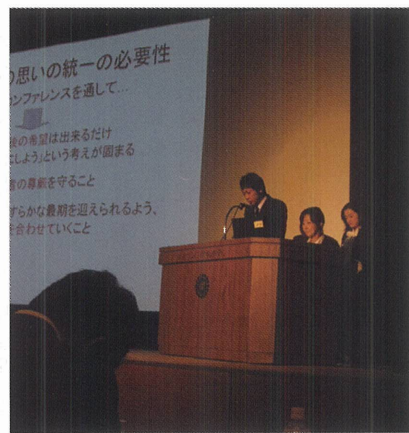
山脇 啓子
岩崎 葉子
福島 洋一

今年度の初めに私たち三人がアクティブ福祉in東京の発表メンバーになり、「看取り」という深いテーマについてのどのような内容にするか、そのためにはどうしたらいいのかと、何もないところからのスタートでした。

■死の話をタブーにしない

まずは介護職がどのような事に不安を感じているのかを知るところから取り組み始めました。その中から「死」の話をタブーにするのではなく、まずはきちんとご利用者の思いを聞く、そして最後の希望をできるだけ叶えていきたい、という思いでご利用者の皆様に協力していただき死生観についての聞き取り調査を行いました。できるだけゆとりとした静かな環境でお話を伺うことに細心の注意を払いながら聞き取りをさせていただきました。先が見えないことで不安を抱えてい

る方もいらつしやるのではないか、その方の死生観を知る事で、ゆたかか苑でどのような暮らしをしていきたいのかを知り、それに対して私たちは何をしたいと思っただけです。聞き取りを行って普段の会話では出ませんが、お一人お一人の心の中に「死」というものに対して必ず何かしらの思い、要望をお持ちであることがわかりました。同時に、ご家族の気持ちについても最後まで揺れ動くという事を知りました。副園長、相談員からご家族に「最期をどのようにしたいのか」というお話しをうかがってもいい、そこから利用者がお墓の場所、宗教についてなど、どのように望んでいるのか契約時に読み取ることでできないご家族の思いを知る事ができました。



■最良の「看取り」とは

どのような「看取り」を行うのが利用者にとって最良なのか。看取りの際、どのような最期を迎えることがその人にとって幸せなのか、お一人の方のデスカンファレンスを実施し全セクションで話し合いました。その方の最期の願い、「たくあんが食べたい」を叶えてあげられなかった介護職の心残り。それに対して栄養士、看護師からの意見を初めて聞くことができました。全セクションの意見を聞きあう事でゆたかか苑では「ご利用者の最期の希望はできるだけ叶えていくようにしよう」という考えが固まりました。

「最期までご利用者の尊厳を守る」と

「その人らしい安らかな最期を迎えられるよう、各セクションの力をあわせていくこと」

「息を引き取る時にもあわてずに人間

らしいやすらかな最期を願うこと」
これらがゆたかか苑の目指すものとなりました。

■発表を通して

この発表を通して私達は「看取り」について改めてたくさんことを考えました。「看取る」段階で手厚く介護するのではない、今現在のご利用者の気持ちにもっと気を配らなくてはいけない、もっと話をしよう、その方をきちんと見ていこう、寄り添おうと気が付きました。ご利用者に最期どうしたいのかうかがった結果から、「寄り添う介護 たった一度の人生—最期誰に手をつないでほしいですか—」という題名をつけました。それまでの人生がとても豊かで素敵なのでも最期の期間が介護職の対応の仕方によってつらいものとなってしまっている方も、人生がつまらないものになってしまっています。人生の最期に「ここにいてよかったです」と思っていたように……

頼りない私達三人の先頭に立つて話を進めてくださった高間副園長が途中でご病気で亡くなられた事は私達にとつて大きな不安になると同時に副園長の思いを汲んで良い発表にしたいという思いが強まりました。

勤務が終わったあとに、神田園長をはじめ、職員皆が発表の練習を聞いてくれて、「ここはこうしたほうが良いのではないか」「もう少し詳しくわしく説明したほう

が良いのではないか」など、色々指導して下さいました。そのように取り組んできた「看取り」について東京都内だけでなく、全国で発表させていただける機会を得られたことに感謝しています。全国大会の発表のために、たくさん職員から応援や励ましの言葉を頂きました。また、現地でも同援の他施設の職員の方から応援の言葉を頂きとても心強く感じました。発表はとても緊張しましたが、多くの皆様からの応援のおかげで「最優秀賞」という、とても素晴らしい賞を頂く事ができました。故高間副園長はきっと会場でも私達と一緒にいてくださり、この結果に喜んでいただけていると信じています。ゆたかか苑の看取り介護への取り組みが全国に認められ、とても嬉しく思います。今後、自信を持ってゆたかか苑の介護に取り組んでいこうと思います。



全国母子生活支援施設 研究大会に参加して

サンライズ青山

所長 栗原 茂雄

福井県福井市「福井県国際交流会館」において、平成二十二年十月十五日と翌十六日の二日間にわたり「厳しい社会的状況に対応した母子生活支援施設の機能強化・拡充を旨として」をテーマに全国母子生活支援施設研究大会が行われました。



その背景には、児童虐待が四万件を超え、DV被害も二万件を超えるなど、家族の関わりにおける厳しい状況が社会問題化し、さらに、不況が一般世帯に比して、より厳しい経済環境にある母子世帯、ひとり親世帯に深刻な打撃を与えている現状があります。

こうした状況の中で、母子生活支援施設には、利用者のみならず地域のひとり親家庭への援助・支援、親子の個別的な問題解決のための支援や母子関係調整など、広く家族支援の構築に向けた機能の強化・拡充が求められております。

また、参加施設は、各地で取り組んでいる実践例を持ち寄り、一層の利用者サービスの充実、職員の資質向上を目指しました。

開会式のあとの厚生労働省雇用均等・児童家庭局長補佐からの説明がありました。基調報告では、全国母子生活支援施設協議会の兜森会長より実態調査をもとに報告があり、母子生活支援施設の現状と課題について話がありました。

また「母子生活支援施設に求められる機能の強化・拡充に向けて」をテーマに、神奈川県立保健福祉大学の山崎学長がコーディネーターとなり、シンポジストに龍谷大学社会学部学部長山邊教授と全国母子生活支援施設協議会制度施策委員の大塚氏を迎えシンポジウムが開催されました。検討課題では入所している利用者の

みではなく地域の在宅母子、父子家庭の支援を視野に入れた施設機能の強化と広がりへのパラダイム変換や地域ネットワークを基盤とした施設づくり、支援体制の強化を図る意識転換とプログラムの見直し、地域との協働の課題、利用者中心の施設機能からの脱却など十項目について実情に即した討議がなされたのが印象的でした。

また、分科会においては、利用者の自立支援計画などについて意見や質問も出て白熱した内容でした。

記念講演では、シンポジウムのコーディネーターをつとめた山崎学長が「家族の変化と家族支援の実践」について話され、今後の取り組みへ向けて大きな収穫がありました。意義深い参加となりました。



保育二十一世紀セミナー に参加して

大山保育園

副園長 森 浩美

昭和四十年「保育所保育指針」制定後、平成二年に第一次改定、平成十二年に第二次改定が行なわれ、今回が三回目の改定となりました。

子どもを健やかに育てる、子育てをしている親を支援する、この二つの役割りを社会から期待されていることから、今回の改定があったと言われている。

そして保育士の資格も法定化となり、社会的責任も益々大きくなりました。

保育所保育指針の趣旨に、「各保育所は、この指針において規定される保育の内容に係る基本原理に関する事項を踏まえ、各保育所の実情に応じて創意工夫を図り、保育所の機能及び質の向上に努めなければならない。」と示されました。基本理念の中には「子どもの最善の利益を考慮し」とあります。そのためには、「最もふさわしい生活の場でなければならぬ」とも規定されました。

保育所保育指針は、大綱化と告示化と二つの大きな変化点があります。

旧指針は、子どもの発達、ねらいなど八章に記述されていましたが、保育指針大綱化により、重要な部分は残し、大枠の部分での基本は示されていますが、各園独自の取り組み展開が今まで以上に求められてきている保育指針であると思います。

職員の資質向上という項目が、第七章に載せられています。

大綱化された指針の中からの指導計画の作成、選ばれる保育園としてアピールのある計画、子どもの育ちを小学校へ提出する保育所児童保育要録など、保育士の資格を求められることが益々多くなり、自己研鑽、OJTの在り方が、以前に増して重要になってくると思います。この状況に因應するため、今夏「保育内容の自己評価の推進」の研修に参加させていただきました。

環境を重視し、子どもの姿から自らの保育を見直すベルギーのSICCS自己評価方法。職員と保護者との会話から、子どもを中心とした協同の理解を深めていくスウェーデンの方式など、海外でも評価が行なわれているなど、今回の背景についてもお話を伺いました。厚生労働省より、二十一年三月「保育所における自己評価ガイドライン」が公表されました。

平成十二年以降、第三者評価は受け

ておりますが、保育士の自己評価に観点をもつてふりかえり、子どもの成長を見直しながら継続的にとりくんでいきたいと思えます。

全国知的障害者関係施設 設長会議に参加して

さくらんぼ

園長 池田康子

昨年五月、全国知的障害者関係施設長会議に出席いたしました。

「障害福祉のめざすべき道」をテーマとし、障害者自立支援法施行後の見直しに向けて、現場の実態に即した制度に見直しがなされていくよう①法人経営のあり方、②入所施設の方向性、③新事業体系の課題、④障害程度区分の見直し、⑤障害児施策の在り方といった現場で抱える五つの課題に焦点を当てた議論を交わし、障害者自立支援法のさらなる検証を行い、今後の障害者福祉のめざすべき道を示していくことを目的に二日間にわたって行われました。

障害者自立支援法は利用者負担の見直し、障害者の範囲及び障害程度区分の見直し、相談支援の充実、障害児支援の

強化、地域における自立した生活のための支援の充実等を改正の視点として提案されておりました。

しかし、全国大会からわずか三カ月で政権交代が行われ、障害者自立支援法を廃止して、「障がい者総合福祉法(仮称)」制定に向けて進むことになりました。

「障がい者総合福祉法(仮称)」は①障害者の範囲定義の見直し。②利用者負担を応能負担とする。③障害程度区分認定は廃止。④サービス体系の見直し。⑤日額方式の廃止。⑥地域生活支援事業の見直し。⑦相談支援事業体制の強化。⑧就労支援事業の見直しを骨子としています。

時代が大きく変わってしまいましたが、



サポート2009.8月号より転載

今、全国大会のことを振り返りますと、この大会で検討を重ねたことは決して無駄ではなかったと思います。それはこのときの議論はそのまま、今後国が障がい者支援として望ましい方向に進んでいくのを見定める判断基準になると考えられるからです。

また、新しい法律が制定されるまでの間、現在の障害者自立支援法は生きていくわけですから、見直しをどのように行っていくかも見定める必要があります。

折しも昨年十二月八日には内閣に「障がい者制度改革推進本部」を設置されました。障害者権利条約の批准に必要な国内法整備を行うため国全体で動き出すということが明確になりました。

障がい者の施策は時代とともに変化してきましたが、今この時期こそ私たちが変化の担い手となるよう今後も研修や会合などでの情報収集や意見交換の場に積極的に参加するべきだと感じています。

携帯版採用サイト OPEN!

携帯からも応募可能!

ホームページの「採用情報」が携帯電話からも応募可能となり、幅広い方々からの利用ができることとなりました。



<http://www.doen.jp/cgi-bin/mobile/index.cgi/>



◆フジホーム◆

フジホームではご利用者が活き活きと自分らしく暮らせるように、今年度も積極的に『外出』の機会を企画しています。

外出といつても決して大袈裟なイベントではなく正面玄関から一歩足を踏み出せば桜の木が四季折々の表情で、また頬を撫でる風が季節の移り変わわりを感じさせてくれるような「普段着の外出」です。隣の小学校の生徒たちがランドセルを背負って元氣よく下校していく姿を、自分の孫を見るように優しいまなざしで見守っているご利用者の様子に私たちも感慨深いものを覚えます。

同じ景色でも季節によって、また時間によってその表情は様々です。こういった外気に触れることでしか味わえない感覚というものを大切にしていきたいと考えています。

また普段着の外出に加えて「より個別のニーズに応えていこう」「思いを表現することが難しいご利用者のニーズを引き出そう」という発想から企画の段階でご利用者と一緒に出かけ先を考え、「こんなところに行ってみよう」という思いを形にする取り組みも行っています。

ます。その一つとして先日、多摩動物公園に出かけてきました。

出発するまで「本当に行けるかしら」と少し不安を抱いていたご利用者が「生まれて初めてキリンを見た！本当に首が長いんだねえ」と瞳を輝かせている姿や、ライオンバスに乗車するための長い階段を「自分で登る！」と言って息巻いているエネルギーに満ちた姿に私たちも驚かされるばかりでした。

帰る車中、あるご利用者が「こんなところに来ることができるとは思わなかった。本当に楽しかった。動物園にいたライオンのように自分も強くなつて来年また来たいね」という言葉に自分たちの仕事の大切さ、またその魅力に改めて気付かされました。

今後も隠れたニーズを探すために、ご利用者の心の声に耳を傾ける日々の小さな積み重ねこそが、ご利用者の笑顔と職員のやりがいにつながっていくことを心に留めながら、心に寄り添う支援により近づくための歩みを進めていきたいと感じています。

(山下記)



◆むさしの保育園 方南分園◆

むさしの保育園方南分園は二階が区図書館という環境にあり、親子や保育の中で絵本に触れ親しんでいます。皆で絵本を出してきて中を見ながらどれにしようか選んでいます。自分たちで借りた本はよく覚えていて「これは〇〇ちゃんの本だよ」と話しながら、見えています。その図書館とタイアップし、地域活動の一環として出前保育を行なっています。

出前保育とは、日常保育園で行なっていることを公園や児童館など園外で地域の方を対象に行なう事業です。方南分園では図書館の一室を借りてパネルシアターや人形劇など、うたや手遊びを交えながら行なっています。図書館に遊びに来ていた子どもたちや、事前のお知らせを見て楽しみに来てくれる方など参加者も増えてきました。〇〇二歳児のお子さんが多いですが、歌に合わせてパネルシアターなどは曲に合わせて身体を揺らして楽しんでます。興味津々で前まで見に来たり、触りに来たりする姿も見られます。お母さんたちも初めて見るお話を真剣に見ています。大型手作り絵本のお話の最後に大きなヒマワリが咲いた時はお母さんの方が「きれい!!」と声をあげて喜んでいました。

同 援 俳 壇

万世敬老園 あげさみ句会

せまり来て

吾が家周りも紅葉なり

月岡 久三

人目ひく青い目の子の七五三

平岩 武二

散歩路紅葉仰いて一体み
千柿の味に山家を想い出し

宜 準子

時雨なぞ

平氣の平座ショッピング

武藤 香雄

ニユーフジホーム俳句

神域の落花重ね冬椿
静寂に動く人なし春の雪

高久 源蔵

ライトホーム俳句

呀返り朝餉にすする熱き汁
寒さ耐え心と和ます寒椿

佳 杼

参加している地域の方を見ると、周りの方との会話がなく下を向いている方、表情のかたい方も多くいらっしゃいます。核家族化の中で子育てをしている母親が孤立していると言われる今、その端が垣間見えています。その中で手遊びやお話に母親が笑顔を見せること、出前保育を通して地域の人たちと交流をもつきっかけになることだと感じています。誰でも気軽に参加できる雰囲気を作り、今後も継続してたくさんの方に参加してもらえよう、親子で楽しめる出前保育にしていきたいと思っています。

(三上 記)



◆さいわい福祉センター◆

さいわい福祉センターでは、「二十四時間三六五日、いつでも安心・安全・快

適』をモットーに、様々なサービスをこなっておりますが、その一つに入浴サービス事業があります。

サービスを提供している中、美容師の方にシャンプーのやり方を教えて頂ければもっと気持ちよく入浴して頂けるのではないかと考え、今年度始めて取り組んだのが『シャンプー研修』でした。

ボランティアセンターより、以前美容師をしていた方を紹介して頂き、髪の毛を洗う際の手順はもちろんのこと、シャンプー前のブラッシングの重要性、すすぎの際は出来るだけ頭皮に近づけてシャワーをあてて、耳の裏側の生え際から襟足にかけて十分洗い流すと気持ちがいいこと等など、とても丁寧に教えて頂きました。研修モデルとなった職員からは、洗体台に横になって初めて天上の壁を見つめる味気なさを感じたとの気付きの機会にもなりました。その後、壁にちよつとした飾り付けをしたところ、利用者の方から雰囲気が変わりよくなったというお言葉を頂きました。シャンプーの技術については、利用者の方に尋ねたいところですが、自信がないのもうしばらくしてから尋ねたいと思います。

入浴中には、趣味のことや家庭のことなど、いろいろな会話を楽しみ、入浴後にはご希望によりホットコーヒーやアイステイーなどをお出しし、ゆったり

とした時間を過ごしていただいております。

今年六十五歳を迎え、センターでの入浴が終了となった方がおられます。いつもセンターのお風呂を楽しみにし、ずっとセンターを利用していたいと、涙ながらのお別れでした。

これからも様々な事情によりセンターの入浴を利用される方が沢山いらっしゃると思います。技術の向上はもちろんです。人と人とのぬくもりのあるサービスを今後とも提供し、「気持ちよかった」と言っていただけのように頑張っていきたいと思っています。

(荒井記)



昭島荘俳句

通学路

あの子この子の息白し

榎本 博吉

教会や

友と帰りの寒の月

加賀屋美知子

寒月の

呀え渡りたる日本海

河内 通子

朝日浴び

きらきら光る霜柱

神 きぬえ

町中に

メロディー流れクリスマス

石塚フキ子

人生は

峠が多し冬の雲

池沢 香雄

祝表彰・感謝状受賞者

■全国社会福祉協議会会長表彰

ゆたか苑

園 長 神田 裕二

十一月二十日、厚生労働省、全国社会福祉協議会、中央共同募金会共催による全国社会福祉大会が、日比谷公会堂で開催されました。この大会は、これまで多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった団体や個人の方々を表彰して二層の活躍を期待するとともに、わが国の社会福祉の更なる充実をめざす機会として開催されています。

一施設のみ、法人のみが発展するということではなく、社会福祉に携わるすべての人々の思いや努力の上に福祉社会の充実があります。そして、はじめて質の高いサービスを安定的に提供することができるようになると信じています。ゆたか苑では、ご利用者の「いつまでも自分らしい生活を送り続けたい」とそんなあたりまえの気持ちに応えられるよう、自己決定や人権が生活のあらゆる場面で尊重されることを常に念頭におき、感謝の気持ちや小さな喜びの心を持ち続け、一人ひとりの職員が真心を伝えられるサービスを目指しています。

このように、福祉現場は素敵で魅力があり、「やりがいのある」仕事であることを、これからも地域社会に向けて発信し、少しでも福祉の充実につながればと願っています。

全国社会福祉協議会会長より表彰していただくことができたのも、多くの方々のお力添えや今まで支えて来て下さった同援職員の皆様のお陰と感謝しております。ありがとうございます。

■社会福祉法人日本保育協会

永年勤続表彰

大山保育園

副主任 井畑なを美

栄養士 西澤 和子

■社団法人東京都施設給食協会表彰

むさしの保育園方南分園

調理員 倉橋 信子

昭島消防署より感謝状

昭和郷保育園

平成二十二年十二月三日の午前中、昭和郷保育園から西へ二百メートル離れた場所で、民家火災がありました。隣接する私立幼稚園の園児と大人約百名が昭和郷保育園に避難しました。

大きく東へ流れていた黒煙に気づいた上林園長は、幼稚園に向かい、敷地外に避難していた職員たちへ「うちの保育園に避難してください」と声をかけました。同時にかけつけていた昭和郷の施設長、職員達と一緒に園児八十八人を昭和郷保育園に誘導しました。

小雨が降る寒い中、園児達に励ましの声をかけ続け、手を握りながら、約十分で避難誘導が完了しました。

「ただただ子どもたちを助けたかった」と上林園長は振り返っています。

十二月の十二日に昭島消防署署長より感謝状が贈られました。翌十二日の東京新聞紙上から、署長のことばを引用させていただきます。

「迅速な避難で、なかなかできるものではない。地域の安全をつくるのは地元の人々。保育園の行動は、周辺地域の安心につながった」とたたえられました。(清水 記)



ご 寄 付

- ◇山内 悦◇戸塚洋子◇昭島市赤十字奉仕団委員長 和田とく子◇昭和中学校校長 岩下伴雄◇(福)東京福祉会◇扶桑建設(株)代表取締役 星野宗保◇ネオハルト(株)代表取締役 南 浩◇昭島サンセルフ 高野 實◇かぶとや食品有限会社取締役 柴田秀雄◇(有)海老山◇MDRT Foundation Japan

an◇(株)アビック代表取締役 成田喜東

後 援 会

◇牛込理容女性部◇安里健和

ご支援ありがとうございました。(敬称略順不同)

雑 感

年末に片づけをしている時に昭和六十年に科学万博のイベントでポストカプセルに小学生の我が子宛てに出した懐かしいはがきが二〇〇二年にとどけられたものを見つけました。ふと昔を思い出しました。新年は、初詣にでかけ、かるたとり、羽根つき、たこあげなど近所で元気に遊ぶ子どもの姿がありました。現在ではまったく見られなくなり、子どもたちは家でテレビゲームで淋しいですね。(山下 記)

表紙の写真

「水仙」(高木道信 氏)

平成二十二年一月十五日 発行
東京都新宿区原町三の八
電 話 〇三(三三四一) 七六一一
社会福祉法人 財団 東京都同援護会
発行者 牧 野 洋 一
印刷所 東京都同援護会事務局
東京都千代田区外神田一―一五